

令和元年度外部評価に基づく対応

施策の体系		自己評価		行政評価委員会評価	市対応	担当課
		目的	取り組みの方向			
施策	1.市民活動の推進	地域の活性化と地域課題の解決に向けて、市民及び市民活動団体等が相互理解を深めるとともに、目的を共有し、対等な立場で連携及び協力する。	地域自治組織の活性化を支援し、地域コミュニティの充実を図る。復興により生じた新たな地域コミュニティの自治組織の形成を支援する。市民活動団体の活性化を推進し、市民活動団体が自立して活動できるよう支援する。協働に対する市民の理解を深めるとともに意識啓発を図る。	施策の目的、取り組みの方向性については、現時点では問題ないと評価します。	引き続き、必要な整備を図ってまいります。	環境生活課
				目標指標の「市民団体数」では、地域自治組織が活性化したか、地域コミュニティの充実が図られたか、市民活動団体の活動が自立したかどうか判断が難しいと感じます。わかりやすい目標指標の設定をお願いします。	次期総合計画で見直しを行い、市民意識調査の項目である「地域自治組織(町内会、自治会等)の活動への参加割合」「NPO等の市民活動団体の活動への参加割合」を指標としました。	環境生活課
				組織や団体の活性化、地域コミュニティの充実とは、どのような状態を指すのか、市としてどのようなあり方を望んでいるのかといった具体的なビジョンが見えにくいです。市民団体や地域コミュニティのあり方に関して、長期的視野での具体的なビジョンの設定が必要ではないかと考えます。ビジョンや指標の検討の際に、市民意識調査の結果を参考にし、類似市町村や先進市町村等との比較を行うと、市として目指すところが見えやすくなるのではないかと考えます。	市民意識調査の結果を参考に、市民の活動に実際に参加する割合を高める取り組みを進めてまいります。併せて、関心度、参加意向を高めるよう取り組んでまいります。	環境生活課
基本事業①	地域自治組織への活動支援	地域コミュニティの活性化を支援し、充実を図る。復興により生じた新たな地域コミュニティの自治組織の形成を支援する。	地域活動の拠点となる集会施設整備への助成など、地域のコミュニティづくりを支援する。関係団体等と連携して研修会を開催するなど、活動の中心となる人材の育成を図る。地域コミュニティの組織化のための助言、支援を行う。	事業の目的、取り組みの方向性については、現時点では問題ないと評価します。	引き続き、必要な整備を図ってまいります。	環境生活課
				「地域コミュニティの充実」とは、具体的にどのような状態を目指しているのかが見えにくいです。また、現在の目標指標からは、地域自治組織が充足しているかどうか、地域コミュニティの充実が図られたかどうか判断が難しいと感じます。対象と目指すべき状態を具体的にイメージしたうえで、適切な指標、目標値を設定していただきたいです。なお、市民意識調査の結果を参考に、課題を抽出し、取り組みの参考にしても良いのではないかと考えます。	次期総合計画で見直しを行い、市民意識調査の項目である「地域自治組織(町内会、自治会等)の活動への関心度/参加意向」を指標としました。地域自治組織の活動への関心度、参加意向を高める取り組みを進めてまいります。	環境生活課
事務事業①	地域自治組織活動支援事業	地域コミュニティの維持・発展を図る。	地域コミュニティ発展のための活動や活動拠点となる集会施設整備に要する経費に補助・助成を行う。町内自治会連合会の活動を支援する。	成果指標については、活動指標と同様の指標とし、補助金の交付団体数など、取り組みの内容がわかる指標を複数設定し、総合的に評価したうえで、今後の検討を行った方が良いのではないかと思います。	補助金の交付団体数等、活動指標と同様の、具体的な取り組み内容がわかる指標を設定し評価することで、より効果的な取り組みにつなげてまいります。	環境生活課
				町内自治会連合会の活動支援を通じて、団体の活動内容の把握や地域課題の共有、課題解決につながる研修会の開催が行われており、有効であると考えます。今後も継続していただきたいです。	引き続き、必要な整備を図ってまいります。なお、令和2年2月開催の4地区懇談会では、自治会運営のあり方等を協議したほか、団体のニーズ把握や今後の支援について検討を深めました。	環境生活課
基本事業②	市民活動団体への活動支援	市民活動団体の活動の活性化を推進し、自立を図る。	市民活動団体の活動に対する支援の充実を図る。研修会などを開催し、市民活動への理解と参加する市民の増加を図る。	事業の目的、取り組みの方向性については、現時点では問題ないと評価します。	引き続き、必要な整備を図ってまいります。	環境生活課
				「市民活動団体の活動の活性化や自立」とは、具体的にどのような状態を目指しているのか、取り組み内容として、年1回程度の研修会の開催、各種情報提供で、市民活動団体の活動の活性化と自立が図られるのかが見えにくいです。また、現在の目標指標からは、市民活動団体の活動の活性化や自立が図られたかどうか判断が難しいと感じます。数値として公民館利用団体数を計上しているとのことでしたが、活性化や自立と、公民館利用の市民活動団体数にも関連が見えにくいです。対象と具体的な状態をイメージしたうえで、適切な指標、目標値を設定していただけると良いのではないかと考えます。	次期総合計画で見直しを行い、市民意識調査の項目である「NPO等の市民活動団体の活動への関心度/参加意向」を指標としました。市民活動への関心度、参加意向を高める取り組みを進めてまいります。	環境生活課
				難しいとは思いますが、団体数のみではなく、市内の団体の活動内容や成熟度の傾向といった視点での現状把握を行う必要があるのではないのでしょうか。	担当課と連携し把握に努めてまいります。	環境生活課
				市民意識調査の結果を参考に課題を抽出し、今年度は、若い世代を巻き込んだ協働をテーマにした研修会を開催する予定とのことですが、このような方法は有効であると思います。今後も継続していただきたいです。	引き続き、必要な整備を図ってまいります。	環境生活課
				情報提供については、協働の啓発用パンフレット等市からの案内、盛岡NPO活動支援センターからのお知らせの配布、多くの方が利用する場所での配架等を行っているとのことですが、いつも同じ対象にしか情報が届いていない印象を受けます。周知に関する工夫が必要と感じます。	様々な方法を活用し、改善を重ねながら、引き続き周知に努めてまいります。	環境生活課

施策の体系			自己評価		行政評価委員会評価	市対応	担当課
			目的	取り組みの方向			
	事務事業①	地域力向上支援事業	市民活動団体の活動の活性化と自立を図る。	市民活動団体・市民を対象とした研修会を実施する。	成果指標については、活動指標と同様の指標とし、研修会の参加者数など取り組みの内容がわかる指標を複数設定し、総合的に評価したうえで、今後の検討を行った方が良いのではないかと思います。	研修会の参加者数等、活動指標と同様の、具体的な取り組み内容がわかる指標を設定し評価することで、より効果的な取り組みにつなげてまいります。	環境生活課
	基本事業③	市民との協働の推進	協働に対する市民の理解を深め、意識啓発を図る。	提案事業制度をはじめとする市民協働の仕組みについて情報提供する。	目的、取り組みの方向性、目標指標については、現時点では問題ないものと評価します。	引き続き、必要な整備を図ってまいります。	環境生活課
	事務事業①	市民協働推進事業	市民と市の協働推進について相互理解を深める。	提案事業、指定管理、共催事業など、協働による取り組み数の周知啓発を行う。提案事業に係る自治推進委員会の審査の充実を図る。	「協働の取り組み数」で現状を把握し、目的が達成されたかを確認することは妥当であるものの、個々の具体的な活動内容が見えにくい。携っている側の一連の手続きや事業の具体的な成果も見えてくると良いと思います。協働の取り組みにより市民団体がどうなったか(団体としての成熟度が上がったのか)、地域がどうなったか(地域活性化につながったか)など、「協働」の枠組みで行われている事業に関して、「協働」という観点で評価できる目標指標を設定するののも一つの方法ではないかと考えます。	「協働の取り組み数」での現状把握のほか、具体的な取り組み内容がわかる指標、協働の効果を計ることができる指標について検討してまいります。	環境生活課
成果指標「提案事業数」は、「後援」「共催」「補助金」「委託」などの様々な協働の形態の中で、それだけを取り上げた理由が見えにくい。					「提案事業」は、「協働」の多様な形態の中で、提案から実施、効果検証(評価)までの一連の過程を市民と市がより一体となって行う象徴的な事業と捉えているためです。今後も「提案事業」の活用を促し、一連の過程を通して得られる相乗効果により、協働の関係づくりの強化につなげてまいります。	環境生活課	
成果指標については、活動指標と同様とし、周知啓発の方法や回数、審査の実施状況など、取り組みの内容がわかる指標を複数設定し、総合的に評価したうえで、今後の検討を行った方が良いのではないかと思います。対象と具体的な状態をイメージしたうえで、適切な指標、目標値を設定していただきたいです。					活動指標の見直しと同様の、具体的な取り組み内容がわかる指標を設定し評価することで、より効果的な取り組みにつなげてまいります。	環境生活課	
市民と市の協働推進についての相互理解にあっては、市職員向けの研修会、市民向けの周知(地域力向上支援事業の研修会も含め)と対象を分けるのではなく、市民と市職員が話をしながら一緒に理解を深める場の設定を検討してはいかがでしょうか。					これまでも、市職員に対して市民向け研修会への参加を促し、市民と市職員が一緒に議論を深める場を作ってきました。引き続き、幅広く参加者を募った研修会を開催し、協働を円滑に進めるための関係づくりの強化に努めてまいります。	環境生活課	
予算の使い方に対しても評価したいところであり、自己評価の段階で、費用対効果について表記していただくと良いと思います。各評価表様式について、評価者の負担にならないようなもの、評価しやすいものとするよう工夫が必要です。併せて、市内部の自己評価のあり方、外部評価のあり方を再構築していただくと良いと思います。ただし、いたずらに市の業務を増やしてはいけませんので、慎重に検討していただきたいです。					自己評価の精度が高められるよう、作業しやすい様式等再構築を検討します。スケジュールについては、今年度の流れを基に、結果を効率的で効果的に施策に反映できるよう進めてまいります。	企画課	
その他					今年度の対象施策についても、検証を重ねながら様々な取り組みが行われているとのことで、現時点では問題ないものと思います。しかし、その内容が市民に伝わっていないと感じます。全く知らない人、関心のない人との情報の格差を埋める努力は継続していただきたいです。	市の取り組みが伝わるよう、周知に努めてまいります。	企画課